

# 陽成の風

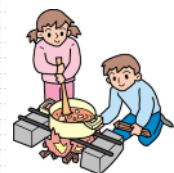
## 夏休みも終盤...

校長 徳田 高美

田んぼの稲がすくすくと育ち、一面緑色の田園風景が広がっています。赤とんぼが飛び交い、ヒグラシの鳴き声にも秋の訪れを感じるようになりました。夏休みも終わりが近づいてきましたが、陽成小においては、これまでに事故等もなく、平穩に推移しています。当たり前のごことに感謝する次第です。



さて、子どもたちにとっての夏休みはどのようなものだったのでしょうか。帰省をしてお墓参りをしたり、家の中で終日過ごしたり、友達と遊んだり、家の仕事を手伝ったりと、いろいろな過ごし方をしたと思います。網を持って昆虫を追いかける子どもたちの姿も見かけました。学校から出されている課題(宿題)も済ませなければなりません。しかし、これらのことがまたひとつひとつの経験ではあります。



陽成小では、体験学習を重要なこととして位置づけています。楽しいことばかりでなく、つらいことやたまには悲しくさびしいことも大切にしたいと考えます。

現在の東北地方を中心に、本当につく悲しい現実を何とか乗り越えようと、様々な取り組みなどの実態が報道されています。これらの事実をぜひとも自分の教訓として、とらえてほしいものです。そして、自分の考え方(心)だけは、前向きに強く(たくましく)もって生活してほしいと思います。さらに、普通の生活が当たり前のようにできていることへも感謝したいものです。ありがたいことです。残された日々と時間を大切に考え、有意義に過ごしましょう。

陽成小27名の児童が、家庭の皆様、地域の皆様方の支えにより、9月1日(木)元気で登校できますように、心から願っております。

## 育友会奉仕作業

21日(日)、前週からの雨模様で心配しておりました育友会奉仕作業が晴天にも恵まれ、陽春会や陽成やっつろう会、地区コミ関係者、保護者のたくさんの参加をいただき行うことができました。校庭等の草取りをはじめ、長年あまり清掃することのなかった校舎の壁の掃除も行っていました。これで、気持ちよく2学期が迎えられそうです。地域の方々のお力を改めて感じるとともに、御協力に対し感謝申し上げます。



## 平成6校小中一貫教育全体研修会

本市全域において進めています小中一貫教育も、もう3年目を向かえております。本市では、各中学校区で連携型を推進しており、地域の特性に応じた小中一貫教育を展開しています。私たち平成中校区6校も、子どもたちの実態や地域の特性を考えながら各校の先生方と研修を深め、系統的に共通して実践すること等を協議し合い、全校体制で望めるように研修会を実施しております。

本年度第2回目となる全体研修会を私たちの陽成地区で行いました。総勢60名を超える先生方が一同に会してできるところと言えば、本校では体育館しかなく、30度を越える中では熱中症等も心配で、終日使った開催では無理と判断し、校区コミュニティーセンターとその向かいの生き生きふれあい館をお借りして行いました。

各発達段階を大きく3つに分けている定着期(小1~4年)・活用期(小6~中1年)・応用期(中2・3年)における、これまでの共通実践事項を振り返るとともに、今後の取組の確認をしました。また、教科ごと等でも実態を確認し、系統的な指導について意見し合い、その方向を再確認して、2学期以降の取組について全体で見定める機会となりました。終日かけて、本中学校区の子どもたちのために小・中学校それぞれの立場から意見を出し合い、互いに確認し合うことのできた素晴らしい会となりました。接待等で御協力いただいた保護者の皆様のお陰で充実した会となりました。本当にありがとうございました。



見を出し合い、互いに確認し合うことのできた素晴らしい会となりました。接待等で御協力いただいた保護者の皆様のお陰で充実した会となりました。本当にありがとうございました。

## 一学期の反省から

一学期を振り返り、本校の診断をしました。評価の領域を学校教育目標『よく気づき 深く考え 進んで取り組む 陽成の子の育成』のもと、目指す姿としての「めざす学校像」「めざす教師像」「めざす子ども像」をそれぞれの観点(4段階評価)で、教師自ら評価したものが裏ページの右の表です。数値で表してみると、アンダーラインの入っている6項目は、特に2学期以降意識して改善しなければならない項目になります。

裏ページ左の表は、保護者や地域の関係者の皆さんに評価していただいたものです。白抜き文字の6項目が、今後努力しなければならない項目になります。御協力ありがとうございました。

全体的に見て、自分のこと・我が子のことを評価する側になるとどうしても辛い評価となり、他者を評価すると若干甘くなるのは仕方ないことです。しかし、それを差し引いてもやらなければならないことが明確になったことはとてもありがたいことです。1学期終了後、職員間でこれらの結果はもちろん、一人一人が分担している校務や教科等についても、成果や課題・対策等を確認し合い、この夏季休業中に準備できるところをしっかりと整理し、2学期に向け準備しております。

## 陽成太鼓踊り 初デビュー二人

7日(日)、校区の太鼓踊り保存会・地区コミの御指導の下、今年も陽成太鼓踊り奉納が盛大に行われました。2週間前から毎日の練習を御指導いただき、子どもたちも楽しく取り組んでいたようです。



今回は、初デビューが二人おりました。6年の檜垣大貴さんと5年の平井かれんさんです。昨年からの6年の四俣力さん、上大迫智美さん、平石つば美さんの3人とあわせ、小学生5人の参加となりました。その先輩である中学生や高校生、そのリーダーとなる社会人まで、当日は、風があり矢旗があおられ踊り



子には大変だったようですが、見事に踊りきってくれました。延々と引き継がれる郷土の芸能文化であるこの「太鼓踊り」を自分たちの誇りとし、さらに継承していくことの大切さを感じながら楽しく踊っている様子は、見ている観客からも微笑ましくもあり頼もしくも感じられました。来年は、誰が初デビューを飾るのでしょうか。

## 夏休みも残りわずか

子供たちにとって、楽しかった夏休みも残すところ数えるだけの日数となってきました。

アドベンチャー事業に参加した子、遠い親戚のところへ子どもだけで行った子等、それぞれに思い出に残る休みとなったことでしょうか。2学期に向け生活リズムを早く戻しましょう。

## 9月の行事予定

1	木	第2学期始業式 体格測定
2	金	貯金日 委員会活動 校内就学指導委員会
5	月	全校朝会 安全点検
7	水	平成中校区あいさつデー
8	木	命を大切にす心を育む日 教育相談
9	金	クラブ活動
10	土	子ども大綱引
11	日	世代間交流グランドゴルフ大会 秋祭り
12	月	職員会議
14	水	授業参観 学級PTA
18	日	平成中体育大会
19	月	敬老の日
20	火	ゲストティーチャー来校
22	木	運動会準備(校内)
23	金	秋分の日
24	土	運動会準備(全体)
25	日	第65回秋季大運動会
26	月	振替休日
30	金	移動図書 クラブ活動

平成23年度 振り返り(保護者・地域)

薩摩川内市立陽成小学校

4:よく当てはまる, 3:やや当てはまる, 2:あまり当てはまらない, 1:全く当てはまらない

■は, 評価が総合点3.5以上の項目, ■は, 総合点3.0未満の項目です。

1学期提出率: 保護者 27/27名(100%), 地域10/19名(53%)

	振り返り項目	保護者	地域
		1学期	1学期
学 校 は	教育方針をわかりやすく伝えている。	3.2	3.1
	特色ある教育活動を行っている。	3.2	3.5
	保護者や地域の願いに答えている。	3.2	3.5
	家庭や地域への連絡や報告など意思疎通をきめ細かく行っている。	3.3	3.7
	思いやりの心を育て、いじめのない人間関係を作ろうとしている。	3.4	3.8
	保護者や地域住民が授業を参観する機会を設けている。	3.5	3.7
	PTA活動が盛んである。	3.1	3.4
	保護者や地域の人々と話をする機会を多く持っている。	3.0	3.4
	分かりやすく授業を行っている。	3.3	3.5
	子ども一人一人を大切にされた指導を行っている。	3.2	3.8
子 ど も は	教員同行の姿勢で、子どもとともに行動し、実践している。	3.3	3.8
	子どものことについての相談に適切に応じてくれる。	3.4	3.6
	子どもの能力や努力を適切・公平に評価している。	3.3	4.0
	PTA活動や地域行事に積極的に取り組んでいる。	3.4	3.3
	安全指導に積極的に取り組んでいる。	3.4	3.5
	毎日喜んで学校に登校している。	3.6	
	自分の学級は楽しいと言っている。	3.6	
	体力作りに進んで取り組んでいる。	3.1	
	家庭や地域で気持ちよくあいさつしている。	3.3	
	進んで読書をしようとしている。	2.7	
家 庭 は	注意したら素直に聞く。	2.9	
	動植物を愛するやさしい心が育っている。	3.4	
	授業が楽しく分かりやすいと言っている。	3.2	
	家庭学習を心がけ努力している。	3.2	
	安全や健康に気を付けて生活しようと心がけている。	3.2	
	地域行事に積極的に参加している。	3.0	
	好き嫌いせず、何でも食べる。	2.9	
	家庭学習の見届けに努めている。	2.7	
	夕読み(音読、朗読)の実行の奨励に努めている。	2.9	
	ハンカチ・ちり紙・マスク等の携行を家庭内で呼びかけている。	3.4	
家 庭 は	歯磨きの習慣化を図り、疾病治療の向上に努めている。(目、う歯等)	3.3	
	手伝いを通して家族の一員としての自覚の高揚に努めている。	3.3	
	規則正しい生活(早寝早起き)の習慣化に努めている。	3.0	
	ごはんのみそ汁を基本とした朝食を作っている。	3.3	
	子どもとよく会話している。	3.2	
	ノーテレビデーやノーテレビタイムを決めている。	2.5	

平成23年度 学校診断評価

(教職員)

領域	評価の観点	1学期	
学校像	めざす		
	1 夢や希望を語り合い、励まし合う学校であったか	3.0	
	2 教師と子どもが深い信頼関係で結ばれた学校であったか	3.0	
	3 花と緑が溢れ、美化に行き届いている学校であったか	2.9	
	4 適時に適切な設営のある学校であったか	2.9	
	5 確かな学力を身につけ、充実感や達成感が味わえる学校であったか	2.8	
6 挨拶や歌声がこだまし、学習に規律ある学校であったか	3.2		
教師像	めざす		
	1 使命感に燃え、職務に誇りと責任をもつ教師であったか	2.9	
	2 自己研鑽に励み、指導力を磨く教師であったか	2.6	
	3 子どもの思いを受け止め、教員同行でがんばる教師であったか	2.7	
4 保護者、地域住民の信頼される教師であったか	2.9		
めざす子ども像	心豊かな子ども	1 基本的な生活習慣を身に付けた子どもであったか	あいさつ 2.7 そうじ 2.7 整理整頓 2.4
		2 動植物の世話がよくでき、生き物をかわいがる子どもであったか	2.9
		3 自他の生命や人権を大事にする子どもであったか	2.9
	4 人の役に立つことを進んで行う子どもであったか(ボランティア)	2.9	
	5 よく本を読む子どもであったか	2.8	
	よく学ぶ子ども	1 学習の準備がきちんとできる子どもであったか	2.8
		2 自分の課題をもつことのできる子どもであったか	2.8
		3 見通しをもち、自分なりの方法で問題を解決できる子どもであったか	2.6
		4 多様な思考ができる子どもであったか	2.2
		5 自分の考えをきちんと発表できる子どもであったか	2.6
6 友だちと磨き合い、高め合う子どもであったか		2.6	
7 基礎学力を身に付けた子どもであったか		2.6	
8 家庭学習に励む子どもであったか		2.8	
たくましく学ぶ子ども	1 元気のある子どもであったか(大きな声、きびきびした行動)	2.7	
	2 自分のめあてをもって行動できる子どもであったか	3.0	
	3 何事も最後までがんばりぬく、気力のある子どもであったか	2.4	
	4 継続的に進んで体力づくりに取り組む子どもであったか	2.1	
	5 健康及び安全の自己管理のできる子どもであったか	2.3	
	6 汗を流して働くことのできる子どもであったか	2.9	
	7 食事のマナーに気をつけ、給食をおいしく食べる子どもであったか	2.5	